

コミュニティ参画・発展

方針

社会貢献方針

KDDIグループは、2012年に社会貢献方針を策定し、よき企業市民として、社会の要請と信頼にこたえ、国内外において自社の技術や人財を生かした社会貢献活動を推進しています。

活動・実績

社会貢献活動の状況

KDDIは、「デジタルデバイドの解消」「健全な青少年の育成支援」「環境保全」「社会・文化支援」「災害時支援」の5分野を中心に、社会貢献活動に取り組んでいます。

2008年2月から実施している、従業員が社内外で行った社会貢献活動を

ポイント化し、ポイントに見合った金額をKDDIが慈善団体に寄付する従業員参加型の社会貢献活動「+αプロジェクト」には、2016年3月現在、全国約9,300名がメンバー登録しており、主体的に活動しています。本プロジェクトによる2015年度の寄付金総額は5,574,800円となりました。

活動・実績

5分野の取り組み

■ ① デジタルデバイドの解消

KDDIは、途上国におけるデジタルデバイドの解消について、情報通信事業を提供する企業として積極的に取り組むべき社会的課題と認識し、継続してこの課題の解決に向け取り組んでいます。

KDDIは、2012年よりシニアの方の情報リテラシー向上を目的として、スマートフォンやタブレットの操作方法を体験いただく「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」シニア向け講座を開催しています。

また、KDDI財団では、2002年度から継続してこの課題に取り組んでおり、2015年度はモンゴルでの広帯域インターネット接続のパイロットプロジェクトや、ベトナムにおける都市交通改善に向けたバス運行情報システムの共同研究などに取り組みました。



シニア向け講座の実施
「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」



途上国での通信環境の整備



KDDI財団の途上国での取り組み

■ ② 健全な青少年の育成支援

KDDIは、未来を担う子どもたちが自身の望むライフプランやキャリアプランを実現できるよう、ICTをはじめとする知識や技術を伝える活動を積極的に行っています。

全国で実施している「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」では、小学生、中学生、高校生などにスマートフォンや携帯電話の安心・安全な利用について啓発しています。

また、中学生・高校生を対象に、KDDI社員と対話することで将来の自分の進路を考えてもらう「キャリア教育」や、アプリ開発教室を通じて地域や自分たち自身の抱える課題解決への取り組みを支援する「IT教室」も開催しています。

KDDI財団では、子どもたちが自ら考え、自律的に行動する力を養うための支援を、国内外で行っています。

国内では、子どもたちにユニークな実験を通じて科学への親しみと面白さを感じ取ってほしいとの願いから、毎年、東北大学、名古屋大学、九州大学が各地で開催する「サマースクール(理科教室)」に協賛しています。海外で

基本理念

KDDIグループは、「KDDIフィロソフィ」にもとづき、当社が関わるすべてのステークホルダーのご満足を追求することで、持続的に世界中の人々が豊かで幸せな生活を送れる、笑顔あふれる社会の実現に貢献します。

行動指針

1. ICT（情報通信技術）の活用による社会課題の解決が、情報通信事業者としての社会的責任であると考え、すべての人々に安心・安全で快適なコミュニケーション環境をお届けすることを目指します。
2. 「デジタルデバイド^(注)の解消」「健全な青少年の育成支援」「環境保全」「社会・文化支援」「災害時支援」の5分野を社会貢献活動の中期的テーマと定め、ネットワーク、商品・サービスなど持てる資源を最大限に活用し、KDDIらしいICTを活用した社会貢献活動を実践します。
3. ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、活動内容の継続的改善と開示・共有を図り、社会の発展に寄与します。
4. KDDIグループ社員は、社会貢献活動方針を共有し、よき企業市民として主体的な活動を行うことで、社会とともに持続的に成長することを目指します。

注 PCやインターネットなどの情報通信技術を「持つ者」と「持たざる者」との間に、情報格差が生じる問題。

コミュニティ参画・発展

は情操教育を通じて心を豊かにしてほしいとの思いから、カンボジアとミャンマーで美術教室を実施しています。さらに、2015年度はカンボジアのボム・オ小学校で、初の音楽教室を開催しました。



ジュニア向け安心・安全講座の実施
「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」

Link Page_37



聴覚障がい者向けIT教室を開催

Link Page_41



スマートフォンを用いた情報モラル教育

Link Page_37

③環境保全

KDDIは、2012年度より「Green Road Project」として、お客さま参加型の環境保全活動や、従業員が行う環境保全活動を推進しています。



従業員の環境保全活動

Link Page_88

④社会・文化支援

KDDIは、2014年に社会貢献サイト「キボウのカケハシ」を開設し、NPOの活動支援や大規模災害などの際の募金活動を行っています。

また、「KDDI財団」を国際協力の主要な実施機関として、社会の健全な発展に寄与するための活動を幅広く行っています。

カンボジアでは、2005年より、毎年チャリティーコンサートを開催して、売上金をベースに「KDDIスクール」を建設し、美術教室や音楽教室を開催しています。伝統芸能「スバエクトム」(大型影絵芝居)を継承する芝居一座への文化支援も行っています。2014年より支援を開始したミャンマーでは、大人も対象の英語、美術、ミャンマー語のクラスを提供する現地スクールを

サポートしています。

そのほか、NPOなどの社会的・文化的諸活動、外国人留学生、日本人海外留学生への助成金支援、特に優秀な成果を挙げた研究に対するKDDI財団賞の授与など、毎年総額約7,000万円の助成事業を行っています。



キボウのカケハシ

Link Website

⑤災害時支援

国内外で発生した大規模災害に際しては、発生直後に社会貢献サイト「キボウのカケハシ」での募金受付を開始し、被災地域のインターネット接続環境支援を行っています。

また、被災地復興の一助となるよう、さまざまな活動を継続して実施しています。



平成28年熊本地震における被害への支援について

Link Website

〈東日本大震災における復興支援〉

KDDIは東日本大震災・復興支援活動の一層の強化を目的に、2012年7月より「復興支援室」を社長直轄組織として立ち上げました。東北出身者を中心に構成されたメンバーは、これまで復興庁や各被災自治体(岩手県釜石市、宮城県気仙沼市、東松島市、仙台市、福島県庁)に出向し、自治体や地域の皆さまと一体となって、KDDIが持つ豊富なICTのノウハウを生かした新しい街づくりを進めています。



東北復興支援の取り組み

Link Website

■ 2015年度 主な災害支援(寄付)

国内

	寄付金額	募集先	寄付先
台風18号被害	5,159,900円	KDDI社会貢献サイト「キボウのカケハシ」	中央共同募金会

海外

	寄付金額	募集先	寄付先
バヌアツ サイクロン被害	3,064,800円	KDDI社会貢献サイト「キボウのカケハシ」	日本赤十字社
ネパール地震被害	6,408,500円	同上	日本赤十字社／ ジャパン・プラットフォーム
ミャンマー洪水被害	5,296,500円	同上	ミャンマー連邦大使館
アフガニスタン・パキスタン地震被害	2,570,400円	同上	ジャパン・プラットフォーム
台湾地震被害	6,614,500円	同上	日本赤十字社

※お客さまとKDDIグループ従業員の募金にKDDIがマッチングし寄付を実施しています。

■ 2015年度 支援活動実績

5月29日 □永良部島噴火の被害(鹿児島県)にともなう支援

9月10日 台風18号の被害(茨城県、栃木県、宮城県)にともなう支援

10月1日 台風21号の被害(沖縄県)にともなう支援